

労福協 NEWS

2009.1 No.42

「変」革を求めて

私たちは、今日ここに「世直し」のために集まりました。

どんな世を直すのか。

それは、人が人らしく生きられない、人間がモノ扱いされる、命よりもお金や効率が優先される、貧困が広がる、そんな世を直すためです。

どうやって直すのか。

それは、一人一人が声を上げ、場所を作り、それによって仲間を増やし、守られる空間をつくり、一人じゃないことを確認し、そして相互の垣根を越えてつながっていくことで直します。

私たちの社会は今、間違った方向に進んでいます。私たちはそれを直したい。それが、私たちの責任です。「自己責任」などは、決して私たちが取るべき責任ではない。私たちには私たちの、市民には市民の、責任の取り方がある。

いま、日本社会は大きな岐路に立っています。

労働者をいじめ続けるのか、人間らしい労働を可能にしていくのか、
社会保障を削り続けるのか、人々の命と暮らしを支える社会にするのか、
お金持ちを優遇し続けるのか、経済的に苦しい人たちへの再配分を図るのか、
生存権を壊すのか、守るのか。

私たちの選択は決まっている。私たちは、人間らしい生活と労働の実現を求める。

反貧困世直しイッキ大集会宣言 (08.10.19) より

(社) 徳島県労働者福祉協議会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113 E-mail tokushima@rofuku.net

労福協

新年のごあいさつ



徳島県労働者福祉協議会
会長 久積育郎

2009年春！明けましておめでとうございます。人間の尊厳を求め、人々の連帯の絆による社会の“変”が始まる中での年明けとなりました。

小泉構造改革のもとで、「社会的に解決しないといけない大問題としての貧困はない」(竹中平蔵)と豪語して3年もたたずに、瀬戸内寂聴さんをして「87年生きてきて最悪の時代」と言わせる日本になってしまいました。

十数年前までの世界第2位の経済大国はいまや世界第2位の格差社会・貧困大国となり、経済的豊かさはごく一部の富裕層に片寄り、あらゆる分野、レベルで崩壊が進んでいます。

反-貧困ネットワークの湯浅誠事務局長は、今の日本社会は教育課程からの排除、企業・家族福祉からの排除、公的福祉からの排除、そして「自分自身」から排除される「五重の排除」が進んでいる。公的なセーフティネットに穴が開いており、一度足をすべらせると、どん底まで落ちる「すべり台社会」になっている。反貧困は社会と政治に対する問いかけであると、メッセージを発しています。

そのような中で迎える2009年は、徳島が生んだ偉大な社会運動家、香川豊彦が21歳となった1909年(明治42年)クリスマス・イブの日に神戸のスラムに移り住んでから100年の節目の年にあたります。“協同組合運動の父”と言われている香川豊彦献身100年を記念するさまざまな事業が全国で計画されています。香川豊彦先達の「友愛・互助・平和の精神」は、混迷の現代社会へ多くのことを訴えかけていると思います。

また、今年(2009年)は1949年8月30日に「全労働者の

視点に立って、福祉の充実と生活向上をめざすという一点で結束する」ことを宣言して、労働者用物資対策中央連絡協議会(中央物対協)が結成されて満60年を迎えます。

中央労福協は、次の10年をスパンとする長期ビジョンを策定し、60周年記念行事を開催することとしています。

県労福協も賀川豊彦先達の精神を受け継ぎながら、30周年を記念して“感謝の集い”を開催し、労働者福祉の地域ネットワークの更なる前進をはかりたいと考えています。

貧困の連鎖、貧困の再生産を断ち、人間の尊厳を第一として人々が支え合う地域社会の連帯の絆を再生させ、“協同”が輝きを増す時代へ向け、「百年に一度」の新たな歴史の扉を開く変革の年にしましょう。

〈労働者福祉協議会役員〉

役職名	氏名	所属
会長	久積育郎	労働者福祉協議会
副会長	大松長勝	全労済徳島県本部理事長
〃	藤原学	四国労働金庫常務理事
〃	川越敏良	日本労働組合総連合会徳島県連合会会長
理事	枋谷旭	(財)徳島県労働者福祉ネットワーク専務理事
〃	国見聖	徳島県民間産業労働組合連合会会長
〃	小笠原幸雄	徳島県高齢・退職者団体連合会会長
〃	小泉栄昭	全徳島建設労働組合(フレッセ)執行委員長
〃	谷本通	徳島県職員生活協同組合専務理事
〃	原田正一	徳島県生活協同組合連合会専務理事
〃	小松義明	日本労働組合総連合会徳島県連合会事務局長
〃	新居良雄	NPO徳島労働安全衛生センター理事長
監事	岡村睦喜	徳島県共済生活協同組合常務理事
〃	元川仁	四国労働金庫徳島営業本部長

〈総務〉			
東條 恭子	事務局次長	中塚江理子	チーフマネージャー
辻 博史	事務局次長	福本 純	
〈ジョブサポート〉			
●仕事なんでも相談室・ ジョブとくしま無料職業紹介所		●とくしま就業支援センター 山田 薫	グループマネージャー
前田すづ子	チーフマネージャー	庄野 郁子	
田中 研次		●徳島県若者サポートステーション	
信田 員代		古本 文代	チーフマネージャー
		中村 光輝	
〈ライフサポート〉			
●なのはな 居宅介護支援センター ヘルパーステーション		●とくしま次世代育成支援センター	
村田知江美	グループマネージャー	兼松 文子	チーフマネージャー
津司 真理	チーフマネージャー		
下田 芳美			

連 合

新年のごあいさつ



日本労働組合総連合会徳島県連合会
会 長 川 越 敏 良

新年明けましておめでとうございます。

旧年中には連合徳島が行なう諸活動にご理解とご協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

今年も決意を新たに、連合傘下組合員の利益の擁護・拡大はもとより、すべての勤労者並びに県民の皆様の幸せのために全力を挙げて取り組みます。

引き続き皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

昨年の流行語大賞は、「アラフォー」と「ゲー」ということで、これらの言葉が与えた影響は少なからずのものがあったと思いますが、私はそれ以上に社会的に影響を与えた言葉である「派遣切り」だと思っています。

アメリカ発の世界同時金融危機は、世界同時不況として各国を襲い、日本も実体経済に大きな影響を与え、製造業を中心に、円高・原材料高も相俟って、減収・減益に転じ、縮小を余儀なくされています。それに伴い、派遣労働者や請負労働者、中には正社員までもが首切りという事態となり、その数は数十万人にもなるとも言われています。

ご存じのとおり、このような安易な解雇は違法であり、一層の監視と指導や告発を行なうと同時に、離職者の住宅や生活を保障する社会的セーフティネットの構築が急がれます。

このような事態に対して、政治は有効な手段を何一つ打っていません。自公政権のトライ回しによって誕生した麻生政権は、「政局よりも政策」と、選挙を先延ばしにしたけれど、第二

次景気対策は今年に持ち越すなど、政策も先延ばしと、迷走どころか開き直り、政府与党内からも批判を浴びています。

このまま行けば、日本は「ドロブネ」と化し、沈没しかねません。

私たちは、一日も早く、国民の審判である解散・総選挙を行なわせ、国民の信任を得た政権によって、迅速かつ積極的な景気浮揚策を実施し、若者が夢と希望を持って、労働を含む社会の諸活動に参画し、老人や子どもが安心して生活できる地域社会を作る第一歩とすべきであります。

連合は、民主党を中心とする野党と連携し、解散・総選挙そして政権交代を果たし、日本の輝かしい未来の扉を開く歴史的な一年にすべく奮闘することを決意するとともに、皆様の一層のご協力をお願いして挨拶とします。

〈連合徳島役職員〉

役職名	氏名	組織名
会 長	川 越 敏 良	自 治 労
会 長 代 行	高 根 研 治	U I ゼンセン同盟
副 会 長	河 村 和 男	電 機 連 合
//	吉 田 良 一	電 力 総 連
//	寺 西 稔	情 報 労 連
//	山 下 吉 生	U I ゼンセン同盟
//	沖 成 正 則	自 治 労
//	藤 岡 一 雄	自 治 労
//	峰 行 一 夫	J P 労 組
//	富 田 真由美	女 性 委 員 会
事 務 局 長	小 松 義 明	情 報 労 連
副 事 務 局 長	加 村 祐 志	自 治 労
//	藤 森 申 二	電 機 連 合
財 政 局 長	品 山 勝 利	J A M
中 小 対 策 本 部 長	平 井 敏 郎	運 輸 労 連
執 行 委 員	柘 保 博	都 市 交 通
//	宮 本 正 一	国 公 総 連
//	宮 本 武 司	交 通 労 連
//	福 島 正 彦	J E C 連 合
//	外 磯 秀 樹	基 幹 労 連
//	村 上 貴 志	フ ー ド 連 合
//	仲 村 省 三	全 水 道
//	竹 谷 公 男	農 協 労 連
//	浦 本 健 治	私 鉄 総 連
//	矢 藤 博 久	J R 連 合
//	川 島 志 伸	県 教 組
//	平 田 信 行	自 動 車 総 連
//	池 谷 佳 久	J P 労 組
//	吉 田 耕 造	全 国 一 般
//	山 根 和 美	女 性 委 員 会
会 計 監 査	上 原 ハツミ	政 労 連
//	西 英 二	四 国 労 金
//	谷 口 武 志	全 労 済

ろうきん

2009年の年頭に寄せて



四国労働金庫

理事長 足達秀夫

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は徳島県労働者福祉協議会会員の皆様方には四国労働金庫の経営に多大なご支援・ご協力を賜りありがとうございました。四国労働金庫の現状の経営資源で四国一円をカバーできるのは、ひとえに会員の皆様方の日頃からのご支援の賜物と厚くお礼を申し上げます。

昨年一年を振り返ってみますと、激動の一年でありました。夏以降、米国のサブプライムローンに端を発した世界的な金融不安の影響は、金融業界全体の経営にかつてない程の大きな打撃を与えました。また、年末にかけては世界的な景気の減速や円高等によって、自動車・電機などの輸出企業を中心に、大量リストラや内定取り消しが発生、大きな雇用不安を引き起こし、政治・社会問題まで発展しました。

これらの事象は一時的、一過性のものではなく、根源的・構造的な要素を含んでおり、克服・回復には相当の時間と労力を要するものと思われま。

四国労働金庫の経営にとっても、新しい課題に直面させられた思いですが、これらも含め、更に厳しくなった環境下でも発展し続けていく

事が求められています。

当金庫は、2008年度より第4期中期経営計画を策定し、「強固な経営基盤を確立し、会員・利用者のため最良のサービスを提供することのできる協同組織金融機関を創るための最終計画」と位置付け、6つの重点課題を設定し、お客様から信頼される金融機関を目指して頑張っています。一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

いま、業態では三つの大きなプロジェクトに取り組んでいます。一つは全国合併であり、二つには次世代システムの構築、三つ目は現行システムの劣化対策であります。特に全国合併（日本労働金庫(仮称)の創設)については、「何が何でも合併ありき」とは考えてはいませんが、会員サービスの更なる向上や労働金庫の経営基盤にとっては避けて通れない課題だと思っています。

労働金庫創設以来半世紀に亘り今日まで築き上げてきた運動と実績は、労働金庫のみならず、全ての働く人々の貴重な社会的共有財産としてさらに発展させ、次世代に継承していくことが今の私たちに課せられた使命と責任だと思っています。

今後、全国合併に向けて不退転の決意で取り組んでまいりますので、会員の皆様方のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。今年の干支は丑であります、大地にしっかりと足をつけ、未来を見据えて一步一步確実に歩んでまいりたいと思っています。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます、年頭に当たってのご挨拶といたします。

【徳島地区選出理事・監事】

常務理事 藤原学 (全水道德島水道労組)
 理事 藤岡一雄 (自治労徳島県本部)
 理事 峰行一夫 (JP労組徳島連絡協議会)
 監事 杉山勤 (N T T労組四国総支部徳島分会)

【徳島営業本部・営業店】

本部長 元川仁
 徳島支店長 郷司明彦
 徳島北支店長 住友誠教
 鴨島支店長 堀北潔
 池田支店長 後藤有三
 阿南支店長 米澤伸明
 徳島ローソンセンター所長 奥田浩次

全 労 済

2009年 年頭のご挨拶



全労済徳島県本部
理事長 大松長勝

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

皆さま方には力強い「丑」年にあたり、心新たに大きな夢と希望を託し良き新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます。旧年中は全労済の発展のために、組合員の皆さま方から多大なご支援とご協力をいただききましたこと、役職員共々衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年は徳島県本部創立50周年を迎え、これまでの50年を振り返り、良きところは更に伸長し、反省すべきところは素直に改め、そして理念も新たに「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」としてスタートいたしました。

しかし、昨年日本を取り巻く状況は「豊かで安心できる……」には程遠い出来事ばかり、「中国の餃子問題」に端を発し、「ミートホープ事件」、「船場吉兆問題」、「事故米事件」そして羊頭狗肉的商売の横行は相次ぎ「食」の安全に関する事件が今も多発しています。また、自然災害として懸念される「東南海地震」。

一方、「豊かさ」については「企業の競争原理」の付を労働者が被り、「非正規労働者」「ホームレス労働者」のネーミング通り極めて格差社会を招来しています。そして、年金・医療問題など不安材料ばかりです。

今こそ、私たち全労済の役割は重く、国民・県民の皆さま方が豊かで安心して暮らせるためにも、その推進が不可欠と思っております。しかし、私たちを取り巻く環境は一段とアゲンストの風強く、組合員皆さま方のご支援とご協力なくしては成就できるものではありません。本

年も倍旧のご支援、ご指導を賜りますよう切にお願い申し上げます。

本年が皆さま方にとって最良の丑年となりますように心から祈念申しあげ、年頭のご挨拶にさせていただきます。

〈全 労 済 役 員〉

役職名	氏名	所属団体
理事長	大松長勝	全労済徳島県本部
副理事長	沖成正則	徳島県職員連合労働組合
常務理事	岡村睦喜	全労済徳島県本部
理事	河村和男	PSEU脇町支部
〃	新居良雄	フレッセ
〃	兵庫利晴	四国化成徳島労働組合
〃	今田恵津子	全国一般労働組合徳島地方本部
〃	山田正之	徳島県高等学校教職員組合
〃	篠原義正	徳島県公立学校教職員組合
〃	山本豊文	徳島市役所職員労働組合連合会
〃	吉内茂樹	日本製紙労働組合小松島支部
〃	尾田良明	JAMジェイテクトユニオン
〃	平井敏郎	徳島通運労働組合
〃	藤岡一雄	自治労徳島県本部
〃	斎藤英司	三好市職員労働組合連合会
〃	近藤太	徳島県教職員団体連合会
〃	西池誠人	東邦テックス労働組合徳島支部
〃	酒井寛二	徳島バス労働組合
〃	林公美	鳴門競艇労働組合
〃	喜納浩信	UIゼンセン同盟
監事	吉田良一	四国電力労働組合徳島県本部
〃	井上誠	四国ヤマト運輸労働組合
〃	三木正文	自治労徳島県本部
顧問	梶浦督司	全労済徳島県本部

ZENROSAI NEWS

2009年1月からこくみん共済に 4つの新しいタイプが登場しました!

- ◆終身医療 5000
- ◆終身医療総合 5000
- ◆定期医療総合 5000
- ◆定期生命 300

ただいま新しいこくみん共済の資料請求を受付しております。全労済徳島県本部ホームページかお電話にて承ります。ぜひこの機会にご検討ください。

全労済徳島県本部 電話：088-625-2340
HP：http://www.zenrosai-tokushima.jp

勤労者福祉ネットワーク

2009年新春を迎えて



(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク
理事長 土井五男

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

日頃は、財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークの運営と事業活動に格別なるご指導・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

米国発の経済・金融問題は世界経済に大きな影響を及ぼし、国内でも昨年来の与野党「ねじれ国会」の中で二代内閣が任期半ばで相次いで辞任、さらに三代目の麻生内閣が誕生しましたが政治・経済はますます混迷の度を深める状態にあります。

このような社会情勢の中でネットワークは各事業において大変な状況もありますが「公・労・使」三者構成からなる特性を生かし事業活動の活性化を目指しています。

県内5ヶ所の「ファミリー・サポート・センター」事業では徳島FSCが周辺5市町村を含めた広域運営となるなど子育て支援活動は順調に拡大しています。

「緊急サポートほっとステーション」事業については2008年9月「厚生労働省」より次年度からはFSC事業に病児や宿泊保育も含め統合運営を検討する連絡がありましたが、財団や中央労福協ではFSC未設地域でのサポート等の問題解決を提起しています。

「徳島市勤労者福祉サービスセンター」は名称を「あわーず徳島」に変更しました。これからの運営については「自立化・活性化・広域化」に向けての検討委員会を設置し、2010年の補助金打ち切り問題に対する対応とあわせ、県内勤労者の生活総合サポート事業を目指し、検討を進めています。

生活あんしん倶楽部は今「くーぼん丸。2009」

の制作をしています。先の「2008」よりさらにサービス内容を充実した提供ができるよう協力店拡大に奮闘中です。

混沌とした社会情勢の中で勤労者の期待に応えられる事業に向け更なる努力と工夫が必要です、ご支援をよろしくお願いします。

皆様にとって希望の開ける幸多き年となれることを祈り新年のごあいさつといたします。

〈(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク役職員〉

任期 2009年5月20日まで

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 所属. Lists board members and staff including Chairman Tsuchi no Goro and various regional representatives.

〈(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク評議員〉

Table with 3 columns: 役職名, 氏名, 所属. Lists advisory board members from various labor and business organizations in Tokushima.

フレッセ



2009年
年頭のご挨拶

フレッセ執行委員長
小泉 栄昭

新年明けましておめでとうございます。

さて、組織的には全県下的に拡大運動を展開しておりますが、仕事不足もありなかなか思うように進まないのが現状です。組合事業では、まず第一に建設国保です。特別調整補助金獲得のための全組合員が取り組むハガキ要請行動、中央決起大会、各地元国会議員要請など仲間の命と健康を守るため全力で取り組んでいます。

働く組合員のサポートとして、労災保険、確定申告、建退共、耐震や瑕疵担保などの各種講習会、その他いろいろな事業を行なっています。また、新しい取り組みとして今年度70歳以上の仲間を対象に「親建クラブ」を立ち上げ、仲間同士の親睦を図って頂くことにしています。

また、県木住協の会員としても活動し「あっぱれ棟梁コンクール」の実施、県民の住宅リフォーム相談窓口として各市町村とも協力し「リフォーム相談支援ネットワーク」の取り組みも積極的に進めています。

組合宣伝の強化、住宅デーとして各地域でのボランティア活動、共済事業、レクリエーションと幅広く活動し、県内で働く建設職人のために取り組んでいきます。今後とも皆様方のお一層のご指導・ご協力をお願い申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

〈フレッセ県本部役員名簿〉

役職名	氏名	出身支部
執行委員長	小泉 栄昭	東 徳 島
副執行委員長	大地 均	日 和 佐
〃	稲垣 征紀	板 野
書記長	新居 良雄	国 府
書記次長	岩倉 健造	佐 那 河 内
財政部長	尾方 巧	脇 町
執行委員	中 敏昭	丹 生 谷
〃	森崎 繁敏	阿 南
〃	秋山 威那	賀 川
〃	相原 隆小	松 島
〃	三浦 博	西 徳 島
〃	佐藤 一	国 府
〃	白土 義信	神 山
〃	井上 信之	佐 那 河 内
〃	中山 邦正	中 央
〃	笹 正行	鳴 門
〃	山室 邦宏	大 麻
〃	賀治 隆志	藍 住
〃	由繁 義明	山 川
〃	桜間 文明	脇 町
〃	青山 啓二	美 馬
〃	向井 行雄	三 好
青年部長	武田 和司	藍 住
会計監査	西本 浩次郎	那 賀 川
〃	大松 重夫	昭 和
〃	田 處 泰雄	阿 波

徳島県生活協同組合連合会



新年のごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会
会長 阿部 和代

初春のお慶びを申し上げます。

さまざまな思いで迎える新年。何はともあれ元気で新しい年を迎えることが出来たことを喜び合いたいと思います。

昨年は、鳴門のわかめ、中国産冷凍ぎょうざの事件に始まり、うなぎ、事故米と次々と食をめぐって農薬や表示偽装など安全を脅かす問題が起きました。とりわけ、安全安心をなによりも大事に育ててきたコープ商品での命にかかわる人体被害は衝撃的であらためて私たちの食の安全へのとりくみが問われました。

また、米国発の金融危機の影響が広がる中、自動車関連にとどまらずさまざまな業種で大量の派遣や期間労働者のリストラが始まっています。内閣府が発表した2008年7～9月期のGDP改定値は年率換算で1.0%減で7年ぶりに2期連続のマイナス成長となった速報値からの下方修正が見込まれています。

後期高齢者医療制度をはじめ障害者自立支援法、いまだ先の見えない年金問題など食やくらしの不安が広がる中で新しい年を迎えています。

こうした中、福田内閣に代わって誕生した麻生内閣は緊急な経済対策を優先するなどと言いながら、補正予算も立てられないまま、「3年後には消費税を上げる」などと公言しています。ネットカフェ難民や保険証を取り上げられて病院にかかれぬ子供など、とても先進国と言われる国とは思えない現状の中、国民生活の困難に真正面から立ち向かうことを避けているとしか言いようがありません。

私たち生活協同組合は事業や運動をつうじて日々のくらしの質の向上と人々の幸せのために役立つことをめざしています。

食や平和、くらしの不安が増している今、徳島県生協連は生産から消費、医療と幅広いテーマで協同を挙げながら積極的に知恵や力を寄せ合い、この徳島に希望の灯火をともしつづけていけるよう努力してまいりたいと思います。

本年もどうかよろしく願い申し上げます。

〈徳島県生活協同組合連合会役員〉

役職名	氏名	職 場
代表理事会長	阿部 和代	生活協同組合とくしま生協
副 会 長	久保 修	徳島県学校生活協同組合
代表理事専務	大久保 秀幸	生活協同組合とくしま生協
理 事	環 滋子	生活協同組合コープ自然派徳島
〃	三木 美恵子	生活協同組合コープ自然派徳島
〃	原田 正一	生活協同組合とくしま生協
〃	山本 博子	徳島健康生活協同組合
〃	工藤 豊子	徳島健康生活協同組合
〃	谷本 通	徳島県職員生活協同組合
〃	清水 麻理子	徳島大学生生活協同組合
〃	井元 健二	牟岐東漁業協同組合
監 事	岸 健二	生活協同組合コープ自然派徳島
〃	佐野 壽昭	徳島大学生生活協同組合
〃	楠藤 義朝	徳島健康生活協同組合

徳島県高齢・退職者団体連合



2009年
年頭のごあいさつ

徳島県高齢・退職者団体連合
会長 小笠原 幸雄

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は、徳島高退連の活動に対し、ご支援、ご協力を頂き心より厚く御礼申し上げます。

さて、私たちは、「安心と信頼の社会保障制度を確立しよう」をメインスローガンに昨年も現役の皆様と共に積極的に活動を展開してきました。

さきの参議院選挙に示された民意をうけて、参議院では野党が過半数を制しましたが、この結果に依拠して、ここ数年間に改悪された年金、医療制度など『社会保障制度と税制について』改悪以前の状態に回復させることを要求の中心にかかげて取り組んできました。

その主なものは、標準的な年金水準は、税、保険料等を除く手取賃金で、現役労働者の賃金の55%の水準を確保すること。『毎年0.9%を減額するマクロ経済スライド制の廃止』老年者控除50万円、公的年金控除120万円から140万円へ戻す。などです。

これらの要求をかかげて昨年実施した『社会保障制度の充実と税制改革を求める150万署名は、2月に157万余筆を集約し、直ちに政府、厚労省に提出、実現を求めています。

次に大きな課題は、昨年4月に実施となった『後期高齢者医療制度』です。この制度は、『平成の姥捨て山』と言われていますが、その内容は、医療費削減のために『75才で分断、選別し、差別管理』するもので、絶対に容認できません。実施後、国民的な反対の声と共に、全国的に展開された反対行動の結果、厚労大臣も見直しを言及しておりますが、更なる廃止への行動が求められています。

私たちの要求する年金、医療、介護、税制の4点の重要課題は、いうまでもなく全て国会審議を要するものです。

現政権は、もはや末期的とも言われており、解散総選挙となれば、現役連合と連携し、現・退一致の活動で、自らの要求実現のために、全力で取り組む決意です。

労福協の益々のご発展を祈念し、あわせて、高退連の活動に対し、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

(2008年度役員)

役職名	氏名	組織名
会長	小笠原 幸雄	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
副会長	多田 昇	全日本自治体退職者の会徳島県本部
〃	寺澤 三次	郵政退職者組合徳島県協議会
〃	宮本 剛	UIゼンセンシニア友の会徳島県支部
事務局長	山藤 正義	四国地方国有林退職者の会徳島支部
事務局次長	坂尾 直也	徳島県労働金庫退職者の会
幹事	蒲生 真三	徳島県退職教職員協議会
〃	角藤 健治	農林水産省徳島県退職者の会
〃	井藤 信輔	全日本自治体退職者の会徳島県本部
〃	湯浅 貢	徳島バス労働組合高齢者退職者の会
〃	松本 隆行	たばこ退職者の会徳島地区連絡会
〃	福田 重徳	全日本自治体退職社会阿南支部
〃	吉岡 忠男	東亜合成徳島工場OB会
〃	磯田 正江	徳島県退職女性教職員協議会
〃	国見 聖	徳島造船新来島ドック徳島工場退職者の会
会計監査	山田 智資	全日本自治体退職者の会徳島県本部
〃	後藤田 静子	NTT労組退職者の会徳島県協議会
連合徳島担当	藤森 申二	連合徳島副事務局長

NPO法人徳島労働安全衛生センター



新年のご挨拶

NPO法人
徳島労働安全衛生センター
理事長 新居 良雄

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、NPO徳島労働安全衛生センターの活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

徳島労働安全衛生センターは、労働災害、職業病の未然防止、被災者の救済等、さまざまな運動を展開してまいりました。

しかし、我が国の労働災害は、長期的には減少傾向にあるものの、今なお労働災害により年間55万人が被災し、1,400人を超える尊い生命が失われています。徳島県においても、年間1千人の労働者が被災し、このうち昨年は11名の方が亡くなっています。また、職業性疾病の発生は後を絶たない状況にあり、健康診断で何らかの所見を有する労働者が5割を超え、加えて仕事や職場に関する強い不安、悩みやストレスを感じている人々が増えるなど、労働者の心身にわたる健康問題も一層深刻になっています。

こうした状況の中でNPO徳島労働安全衛生センターは、良好な職場環境作りと福祉の向上を支援するなどこの1年活動を展開してきました。

2008年3月28日厚生労働省はアスベストによる健康被害者が発生した事業所を公表しました。徳島県においても、12事業所で被害者が発生していることが判明しました。

このことから、全国安全センターは全国一斉に電話相談を3月29日、30日に実施しところ多くの健康相談が寄せられました。

徳島労働安全衛生センターには2日間で56件の相談を受け3件について労働基準監督署に対し労災認定と企業交渉に全力で取り組んできました。

一方、当センターが発足以来実施してきた「第一種衛生管理者養成講座」は16名が受講され全員が終了されました。

受講者はそれぞれの職場で安全・衛生について指導的な役割を担って活躍されるものと期待しています。

徳島労働安全衛生センターは本年も労働者の「安全」と「健康」を守るため全力で活動を展開してまいります。

今後とも皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(2008年度役員)

役職名	氏名	職場
理事長	新居 良雄	フレックセ
副理事長	小松 義明	連合徳島
〃	藤岡 一雄	自治労
〃	吉田 良一	電力総連
〃	吉田 耕造	全国一般
専務理事	藤森 申二	連合徳島
理事	寺西 稔	情報労連
〃	仲村 省三	全水道
〃	平井 敏郎	運輸労連
〃	山下 吉生	UIゼンセン
〃	峰行 一夫	J P 労組
〃	柗 保博	都市交通
〃	佐藤 陽一	鳴門塩業
〃	山本 晃司	大真空
監事	酒井 寛二	森鉄総連
〃	山下 昭彦	私林労連
顧問	岡島 一雄	全国一般
事務局長	山藤 正義	連合徳島

地域労働者福祉協議会の活動

徳島労福協

新年明けましておめでとうございます。昨年は徳島地域労働者福祉協議会の諸活動にご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。景気は回復しているとは申しますものの、我々を取り巻く情勢は依然として厳しく、非正規雇用者の大量解雇や、大学生の就職内定取り消し、また一部上場会社の大量倒産など明るいニュースはどこからも聞こえてはまいりません、また後期高齢者医療制度は撤廃を叫ばれているにもかかわらず悪法として実施されています、このような安心できない社会を1日も早く真面目な労働者がゆとりをもって働けるようにしていかなくてはなりません、連合徳島や県労福協とも連携をとり一層の活動を進めてまいりたいと思います。どうか今後とも格別のご理解・ご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

<徳島地域労働者福祉協議会役員>

役職名	氏名	所属団体
会長	森本佳広	自治労働徳島県職員労組
副会長	米里正行	自治労働徳島市職員労組
〃	益田英明	UIゼンセン同盟日清紡労組
事務局長	鹿山順司	電力総連四国電力労組
事務局次長	川口誠二	情報労連NTT労組
〃	杉原敏彦	J P 徳島連協
理事	佐々木和也	全水道德島水道労組
〃	原田俊彦	全国一般大日本放送労働組合
〃	佐々木宏幸	UIゼンセン同盟四国トーセロ労組
〃	宮本武司	交通労連四国高速労組
〃	太田隆久	自治労働徳島県職員労組(農山村整備課)
〃	西野克己	自治労働徳島市職員労組
〃	栗栖優	自治労働連評(県土連労組)
〃	東條浩文	自治労働佐那河内村職員労組
〃	井上泰彰	J P 徳島連協
〃	上田和貴	都市交徳島市交通労組
〃	後藤田康雄	全農林
〃	小原伸二	徳島県教職員労組
〃	庄野和也	農協労働徳島市農協労組
〃	三好圭介	運輸労連全日通労組
〃	田上剛	私鉄総連徳島バス労組
〃	矢藤博久	J R 連合
〃	福田隆子	電力総連四国電力労組/女性委員長
会計監査	湯浅愛一郎	自治労働徳島県企業局労組
〃	宮武直裕	四国労金労組徳島支店
書記	中山まき	事務局

北部労福協

新年明けましておめでとうございます。昨年は、北部地域労働者福祉協議会の活動に、格段のご指導ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

さて、現在労働者とその家族を取り巻く環境は、あらゆる分野における二極化や格差の拡大による「格差社会」が進み、さらに世界金融危機による、正社員の大量リストラや派遣・契約社員の雇止めなど、先が見えない雇用不安が続いております。

しかし、厳しい今こそ労働者として、また組織としても団結、連帯を強め「ゆとりと豊かさの実感」を目指した活動を進めていく必要があります。

北部地域労働者福祉協議会では、徳島県労働者福

祉協議会や勤労者福祉ネットワーク、また、ファミリーサポートセンターなどと協力し北部地域において労働者福祉の充実のため、地域と一丸となり今後より一層の活動を強めてまいりたいと思います。

今後とも格別のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

<北部地域労働者福祉協議会役員>

役職名	氏名	所属団体
会長	佐藤陽一	J E C 連合鳴門塩業労組
副会長	森岡茂	UIゼンセン同盟四国化成労組
〃	久米次郎	ジェイテクト労働組合連合会徳島支部
〃	山根和美	自治労働鳴門競艇労組
〃	藤原一恭	電機連合三洋電機労組兵庫徳島支部徳島地区支部
〃	平井詳恭	労金労組鳴門支店
事務局長	櫻木大介	自治労働鳴門市役所職員組合
副事務局長	高橋真二	自治労働板野郡連板野町職
理事	山口巧	シミズ精工労組
〃	福島正彦	J E C 連合東亜合成労組
〃	尾田良明	J A M ジェイテクトユニオン
〃	江澤邦弘	都市交通鳴門交通労組
〃	松本修一	農協労働板野郡農協労組
〃	宮島徹	UIゼンセン同盟四国化工機労組
〃	大平和広	J P 労組
〃	福井良和	全水道鳴門水道労組
〃	大島佐知子	労金労組鳴門支店
〃	吉田清子	自治労働鳴門競艇労組
会計監査	矢野晃	UIゼンセン同盟四国化成労組
〃	立石則和	J A M スミテック銅管労組

東部労福協

東部地域労働者福祉協議会より年頭のご挨拶を申し上げます。日頃は東部労福協に対し、温かいご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年の東部労福協において大きな出来事として日本製紙の工場閉鎖ということがありました。長年にわたり共に活動し、東部労福協・東部地協の中心的役割を担ってこられた小松島支部の仲間の皆さんも工場閉鎖に伴い労福協、地協を脱退しました。誠に残念で、寂しく思います。また、構成各単組においても年々、組合員が減少する傾向にあります。このように依然として好転の兆しが見えない状況下ではありますが、私たちは、このような時こそ労働者福祉の向上を進めることが重要であると考えます。

東部地域労働者福祉協議会は、各種セミナーや講座、昨年好評でありました「プロ野球観戦バスツアー」等を積極的に企画・開催しながら、地域労福協間・単組間の連携を強めると共に地域に密着した組織づくりを展開していきたいと思っております。

本年も何卒、皆様のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

<東部地域労働者福祉協議会役員>

役職名	氏名	所属団体
会長	西條由教	UIゼンセン同盟住友林業クレスト労組小松島
副会長	茨木昭行	自治労働小松島市職員組合
〃	金森伸二	J P 労組徳島南部支部
事務局長	上原徹也	自治労働小松島市職員組合
事務局次長	竹本芳男	〃
理事	森岡弘	都市交通小松島交通労組
〃	信田憲志	UIゼンセン同盟ニホンフラッシュ労組
〃	出張康徳	全国一般ナカテツ労働組合
〃	堤貴洋	自治労働小松島市職員組合
会計監査	庄野文裕	UIゼンセン同盟住友林業クレスト労組小松島
〃	西英二	全労金徳島支店

南部労福協

新年あけましておめでとうございます。昨年は南部地域労働者福祉協議会の活動に対しまして、ご指導、協力をいただき心より御礼申し上げます。

私たちが取り巻く環境はさらに厳しく、社会はアメリカ発の世界恐慌へと進んでいるようで、将来への不安が増大していますが、このような時こそ、生活に「ゆとり・豊かさ」が実感できるような、更なる労働福祉の向上を進めていくために、より一層地域に密着した活動を進めることが大切であると考えております。

今後も地域、地協間の連携を高め、「労働を中心とした福祉社会」に応えるべく積極的な活動を展開して参りますので、昨年に増してのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

業務・行事予定

- 主催業 自然とふれあ健康ウォーク (250名)
- 協賛業務 メーデー大会 (200名) ろうきんまつり地引綱 (250名)
- ろうきんまつりソフトバレーボール大会 (100名)
- ろうきん親睦ゴルフ大会 (40名) ろうきん秋の講演会 (100名)
- ろうきんボウリング大会 (2月予定)

本年度も引き続き四国労金阿南支店と協力し、皆さん楽しんでいただける行事を行いたいと思います。

<南部地域労働者福祉協議会役員>

役職名	氏名	所属団体
会長	松江 剛嗣	自治労阿南市職労連
副会長	松原 圭司	J P 労組阿南分会
〃	福島 一郎	四国電力労組阿南火力支部
事務局長	谷本 修司	倉敷紡績労組徳島支部
事務局次長	福長 利浩	紙パ連合王子製紙新労組富岡支部
〃	久積 建造	日本電工労組徳島支部
理事	戸根 眞也	紙パ連合王子製紙新労組富岡支部
〃	松村 淳	自治労阿南市職労連
〃	藤江 洋二	全農林徳島支部
〃	竹内 一	自治労那賀町職
〃	坂東 裕司	自治労海陽町職
〃	誉田 明弘	全国一般柏樺会
〃	湯浅 嘉文	J A あなん農協労組
〃	米澤 伸明	四国労金阿南支店長
〃	森口 芳洋	フレッシュ阿南
会計監査	林 洋行	紙パ連合王子製紙新労組富岡支部
〃	小笠原 康恵	自治労阿南市職労連

中部労福協

新年あけましておめでとうございます。昨年は中部地域労働者福祉協議会の活動に対しまして、ご指導、ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

緩やかに拡大してきた景気成長も金融不安に飲み込まれ、成長を支えてきた労働者に厳しい時となってきました。「派遣切り」など非正規労働者の解雇、就職内定の取り消しなど、働きたくても働けない状況です。また、収入・所得の減少や後期高齢者医療制度・消えた年金など、どの世代も安心して暮らせない社会になっています。

中部労福協では、関連組織・地域と連携しながら、少しでも「労働を中心とした福祉社会」の確立できるようにと様々な活動に取り組みをしてきました。

今年も、連合徳島や中部地協、地域労福協間の連携を取りながら、地域で働く者・生活する者が「ゆとり・豊かさ」を実感できるよう活動していきたいと考えています。今後とも、ご指導・ご協力をよろしく申し上げます。

<中部地域労働者福祉協議会役員>

役職名	氏名	所属団体
会長代行	山本 晃司	大真空労働組合徳島支部
副会長	野口 勉	UIゼンセン同盟日新アトム労働組合
〃	笹尾 善文	全日本ハム労働組合徳島支部
〃	太田 勝久	石井町職員労働組合
事務局長	住友 順	吉野川市職員労働組合
事務局次長	森本 一広	吉野川市職員労働組合
〃	貞野 賢一	吉野川市職員労働組合
理事	森 敏	神山町職員組合
〃	美馬 彰	徳島県職員労働組合鴨島支部
〃	上野 隆三	十川ゴム製作所徳島工場従業員組合
〃	吉岡 治幸	全国一般徳島地本阿波どり支部
〃	重本 貴之	四電工労働組合鴨島分会
〃	坂尾 昇二	白鳳城内徳島県地域民間労働組合
〃	竹内 昭仁	四国労働金庫労働組合
監事	中川 正裕	全森永労働組合徳島支部
〃	小松 隆	阿波市職員労働組合

西部ライフサポートセンター

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、徳島西部ライフサポートセンターの活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻をいただき厚く御礼申し上げます。本年もよろしくお祈り申し上げます。

活動の特徴は①法律相談が好評なこと②ヘルパー要請講座(期間3ヵ月)を実施③くーぼん丸。事業が順調なこと④映画「寒川」上映、裁判員制度・多重債務解決セミナー開催⑤夏休みフェスティバル、ゆとり・癒しのウォーキングを地協、労金との共済事業に移行したことです。主な実績は次の通りです。

◇相談業務 (2008年11月30日現在)

法律相談	保険・金融相談	職業紹介	一般相談	合計
24件	0件	5件	46件	75件

◇主催業務

- 夏休みフェスティバル(480名)・多重債務セミナー(61名)
- ・映画「寒川」上映(229名)
- 裁判員制度セミナー(29名)・ゆとり癒しのウォーキング(128名)

◇県労協事業

- ヘルパー養成講座・二ト出張相談・悪徳商法クレジット法改正署名運動

◇協賛事業

- メーデー大会(268名)・労金生活応援ソフトバレーボール大会(181名)
- 労金生活応援ボウリング大会・労金生活応援ウォークラリー

◇地域貢献事業

- 三好市少年軟式野球連盟の夏季大会後援・PSE杯少年サッカー大会後援

<西部地域労働者福祉協議会役員>

役職名	氏名	職 場
会長	斎藤 英司	三好市職員労働組合連合会
副会長	後藤 有三	四国労働金庫
〃	岡村 睦喜	全国労働者共済生活共同組合連合会
〃	新居 栄治	パナソニック四国IL外ロカ労働組合協町支部
事務局長	金岡 公明	連合徳島専従
理事	増田 重雄	日本郵政グループ労働組合徳島西支部
〃	竹谷 公男	阿波みよし農協職労働組合
〃	高田 博之	四国交通労働組合
〃	原田 夏夫	四国電力労働組合池田支部
〃	新居 良雄	フ レ ッ セ
〃	山本 一夫	県病院局労働組合三好支部
〃	岩本 博文	県職員労働組合三好支部
〃	藤村 孝志	美馬市職員労働組合連合会
〃	坂口 保	つるぎ町職員労働組合
〃	大西 茂	三好市職員労働組合連合会
〃	吉村 英次	東みよし町職員労働組合
監事	中川 潤三	美馬農協職員労働組合
〃	挾谷 肇	四国労働金庫労働組合徳島支部池田分会

2008年を振り返る

シニアパワーの殿堂”オープン”～生き生きとシニアで支える明るい社会を目ざして～

7月12日、定年退職後の高齢者の生活等を支援する特定非営利法人組織「壮生」の結成と同時にオープンセレモニーが開催され、地域住民など約90名が参加。事務所とする徳島県労働福祉会館別館（ヒューマンワーくびあ徳島）前で川越敏良理事長の挨拶の後、この場所が今後シニアの活躍の情報発信地となるよう期待を込めて大きな拍手とともにくす玉が割られました。続いての講演では「壮生」の中村昌宏理事長（徳島文理大学総合政策学部長）が「輝くシニアライフを生きるために」と題して50分にわたり講演をしました。最後に桂七福氏の「古典落語口演」が60分間行なわれ、腹を抱えて笑う場面もあり、時間の過ぎるのも忘れる程でした。



反-貧困全国キャラバン2008in徳島



7月29日県司法書士会、労福協、連合徳島など労働・福祉五団体により徳島実行委員会が発足。司法書士の内田正和さんを代表に、酷暑のなか8月26日より5日間に亘って「生活保護基準（ナショナル・ミニマム）の切り下げ阻止!!」を訴え続けました。自治体要請、徳島駅前街頭宣伝のほか、司法書士による多重債務・生活保護の相談会や専門スタッフによるホームレス支援のための医療・福祉・仕事まちかど相談も行われました。さらに医師による内科検診もありました。8月28日はキャラバン活動の総括となる徳島集會が開催され、約50名の方が参加。各団体から今回活動の成果や、今後の取り組みが発表されました。立石弁護士による生活保護問題への取り組み発表があり、最後に労福協久積会長がドイツにおける最賃の法制化論争を引用し、貧困の連鎖の打破を訴え、「がんばろう!!」と力強く締めくくりました。

『ゆとり宣言』フェスティバル2008開会式典&わーくびあフェスタ（第27回福祉まつり）



秋季の定例行事となっている『ゆとり宣言』フェスティバル2008が、11月8日から23日をメインゾーンに開催されました。この催しも本年度18回目を迎えるまでになり、徳島県・徳島市をはじめ徳島労働局・経営者団体など多くの団体の後援を受けて、文化・スポーツ・行楽と多くのイベントが行なわれました。11月8日は開会式典とわーくびあフェスタ（第27回福祉まつり）が行われ、NPO・ボランティア団体と参加者の交流広場、歌声ひろば、野外出店コーナー、キャラメルポップコーン、スタンプラリーなど多彩なイベントが行なわれ、元気なおじいちゃんおばあちゃん、お子様連れの家族で賑わいました。この他、6地域労働者福祉協議会・連合徳島地域協議会によるイベントが県内各地で行なわれました。健康ウォークラリー、みかん狩り、チャリティーゴルフ、ライフアップセミナー、ホームレス問題を考える人権フォーラム、アロマセラピー講座、たんけんの秋の他、恒例の「ゆとり俳句・短歌・川柳コンテスト」も行われました。



●ジョブサポート事業部

仕事なんでも相談室 088-625-5112
（フリーダイヤル） 0120-783-072
ジョブとくしま無料職業紹介所 088-652-4510
とくしま就業支援センター 088-625-8387
徳島県若者サポートステーション 088-602-0553



●ライフサポート事業部

なのはな居宅介護支援センター 088-611-7087
なのはなヘルパーステーション 088-611-7087
とくしま次世代育成支援センター 088-625-8387
徳島西部ライフサポートセンター 0883-72-8611

一心に残る言葉一

子供叱るな 来た道だ
年寄り笑うな 行く道だ
来る道・行く道・一人道
通りなおしのきかぬ道
今日も生きます 一人道（恭）

育児日記

4月に待望の娘を授かり早や8ヶ月経ちました。今では仰向けに寝かしつけても、瞬間にひっくり返ってハイハイをします。いつも布団から這い出して板間に頭をぶつけたり、TVのリモコンや携帯電話など何でも掴んでは振り回しています。離乳食は7ヶ月目から始めました。父親参加の育児と言いつつも、ほとんど奥さんにまかせっけりです。（福）





ろうきんイメージモデル 高垣麗子

はたらく人の、生活応援バンク **R**ろうきん

ZENROSAI NEWS

7908 S 067
媒体番号367087

「こくみん共済」が医療保障を中心にパワーアップ!
世代に合わせた長期の安心が『新登場』。

家族一人ひとりに、一生つづく大きな安心を。

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済終身生命共済・個人長期生命共済



あなたと一緒に、すすんでいく。

おすすめの組み合わせ 医療保障をより強力に、プラスして安心充実!

入院や通院、女性特有の病気に備えを。 **NEW!** 変わらぬ掛金で一生涯安心を。

医療タイプ + **終身医療5000**

満0歳～満59歳の健康な方に(最高満70歳まで保障※)
※満58歳以前からの継続加入で、医療60歳移行タイプ・医療65歳移行タイプへ自動継続となり、保障は最高満70歳まで続きます(60歳以降保障内容は変わります。)

基本タイプにセットする保障 満15歳～満64歳の健康な方に(保障は一生涯続きます)

総合タイプの月々の掛金 終身医療5000の月々の掛金
1,600円 + 28歳女性の場合 2,200円 = 3,800円

主な保障内容

- 病気で入院したとき(1日目から最高180日分)……日額 **11,000円**
- 女性特有の病気の手術を受けたとき……1回につき **110,000円**
- 通院したとき(1日目から最高90日分)……日額 **2,000円**など

NEW! 終身医療5000 終身医療3000 (2009年1月から)
基本タイプ **医療タイプ**

お取り扱い
全労済
徳島県本部
(徳島県共済生活協同組合)
〒770-0942 徳島市昭和町3-35-1 労働福祉会館1F
☎088-625-2340
営業時間/9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日を除く)

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。出資金をお支払いいただいで各都道府県生協の組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

発行 社団法人 徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (労働福祉会館内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://tokushima.rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 久積育郎
印刷者 フォトプリント白石